



平成17年度 済生会新潟第二病院 院長特別賞授与

【院長特別賞とは病院に貢献のあった個人並びに団体を対象に表彰する】

《 やかた歯科医院 屋形秀樹先生 》

受賞理由： 入院患者さんへの往診や治療及び歯科検診に対して



院長特別賞 をいただいて

やかた ひでき
やかた歯科医院 屋形 秀樹



平成17年12月9日（金）新潟グランドホテルにおいて『職員の集い』が行なわれましたが、その際「院長特別賞」をいただきました。恒例の会長賞・稲垣賞に、わざわざ特別賞を作って下さったものと思い、感謝しております。

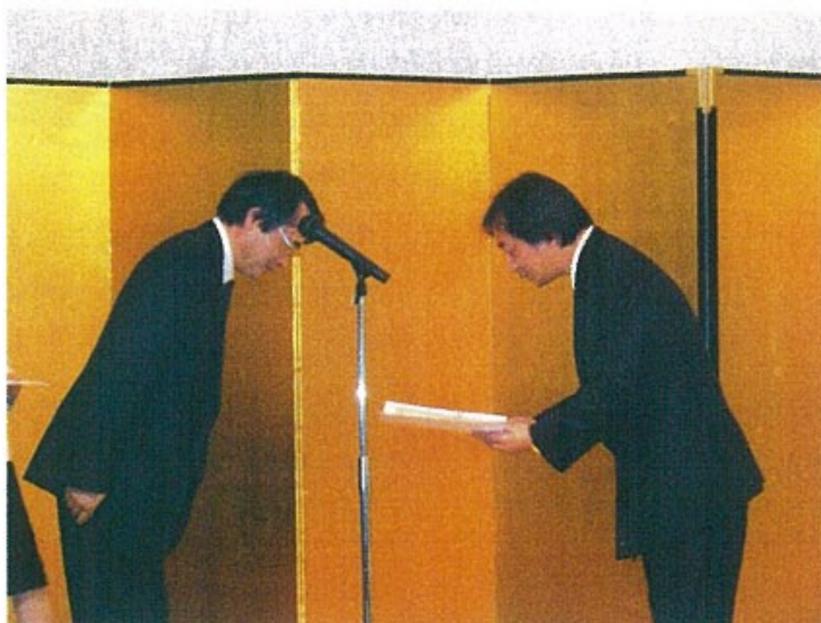
私は大学卒業後、昭和49年から昭和61年まで12年間ほど、新潟大学歯学部第一口腔外科に在籍しておりました。大学勤務時に田町の済生会病院の歯科に非常勤でお世話になっていた時期もありました。大学退職後（昭和61年）に現在地で開業しました。

口腔外科は、口腔領域の感染症、外傷、腫瘍、顎変形症等や、全身的な有病者の歯科治療等が、診療の範囲でした。開業後もその経験を生かしたかったので、在宅の有病者の歯科治療等は、依頼があると往診してきました。昭和63年に新潟脳外科病院が開院し、ベッドサイドでの歯科治療の依頼があり行なってきました。

その後、平成3年7月に済生会新潟第二病院が開院した際、当時の病院長の後藤司郎先生に自らお願いして、ベッドサイドでの診療を行わせてもらうようになりました。往診の患者さんは、次第に多くなりましたが、平成14年より歯科衛生士の宮沢玲子さんが口腔ケアを始めるようになり、それに伴って依頼がさらに増えるようになりました。平成17年は年間150名程でした。義歯の制作にあたり、印象採得（型とり）や咬合採得（かみ合わせをとること）は、いずれも重要なところなのですが、ベッドサイドでは、充分に出来づらいこともあり、病院のスタッフの方々（看護師さんや先生方）にご迷惑をおかけしていることもあると思っております。そういったケースは患者さんに使ってもらいながら調整して最終的には、何とかなるように頑張らなくてはと思ってやっております。申し訳ありませんが、よろしくお願ひします。

検診センターの人間ドックに伴う歯科検診は、湯澤秀夫先生から声をかけていただいて、センター長の長岡栄広さんはじめ、スタッフの菊地まゆみさんやセンタースタッフの方々に協力していただいて、平成17年3月より始めました。昨年一年間で114名の受診者がありました。こちらも努力して増やしていきたいと思っております。

往診でお世話になっている分、検診の方も頑張ってやっていきたいと思っております。今回は本当にありがとうございました。



『職員の集い』の席上、屋形秀樹先生へ上村院長より感謝状を贈呈しました。
=17年12月9日 新潟グランドホテルにて



やかた歯科医院
新潟市寺地2031番地

TEL (025) 233-1182
FAX (025) 265-4182